

広済寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣済寺

〒933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/



法座のご案内

報恩講

十一月五日(木)・六日(金)

午前九時半・午後一時半より

※六日は午前のみ

三日(火・祝)午後二時より
子ども報恩講・仏婦報恩講



今号の法語



AIは
答えをくれる
仏法は
問いをくれる



今号の内容

- ・報恩講に向けて、みんなで準備しています
- ・ホームページをリニューアル
- ・千夏のきときと日記
- ・住職コラム
- ・八月大雨災害への募金のお願い



AIの進化が止まりません。わずか数ヶ月で新しいAIが次々と登場してきます。変な答えが返ってきたのも今は昔。今では圧倒的な知識をもつて、ほとんどの質問に素早くちゃんと答えてくれます。

一方、仏法のお話を聞いていると、答えをくれるどころか、反対に問いをいただくことがよくあります。「あなたは何のために生きていますか?」「本当に大切なものは何ですか?」など。

思わずドキッとしてしまいますが、そんな問いがあるからこそ、毎日をただ流されるように過ごすのではなく、ふと立ち止まり、自分の姿に気づかせられるのでしょう。

答えは調べればすぐに手に入る時代。けれども、自分の生き方を問われるひとききは、なかなか手に入りません。

報恩講の季節です。お寺で、その大切な「問い」に出遇ってみませんか。

おみがき(仏具みがき)の様子



報恩講に向け、

みんなで準備しています

秋になりました。あの暑かった夏もどこへやら。いよいよ毎年の報恩講が近づいてきています。

報恩講(ほんこさま)は、浄土真宗における一年で一番大切な行事です。浄土真宗を開かれた親鸞聖人(御開山)を偲び、聖人が大切にな

さった阿弥陀様の教えを共に聞かせていただきます。

この報恩講をお迎えするため、たくさんの方々が準備してくださっておられます。

除草や窓拭きなどのお寺の掃除から、年に一度の仏具みがきなど。皆さんお忙しい時期にも関わらずお手伝いくださり、大変ありがたいことと感謝しております。おかげさまで今年もきれいに整った中で、お参りすることができそうです。

皆さんと共に迎え入れる報恩講。お参りしてくださる方もおられて、いよいよ場ができていきます。どうかお参りくださいね。

ホームページがリニューアル

この度、広済寺のホームページをリニューアルしました。なんと十六年ぶり。最近では表示が崩れており、ご迷惑をおかけしてしまいました。

ホームページ開設の時とは違い、今ではスマートフォンが主流の時代。パソコン用とは別に、スマートフォンで見た際の操作性なども考えてあるようです。

今までの寺報や法語のバックナンバーも随分ありましたので、カード形式にして見やすく紹介しています。広済寺のSNS(インスタグラム等)も

※ホームページへのアクセスは、今号の表紙にある「QRコード」もご活用ください。



スマートフォン用表示

千夏ちなつのきときと日記

お釈迦様は「人生は苦である」として、「生・老・病・死」の四苦を示されました。これは人間は生まれたからには誰しも、老・病・死を背負って生きていかなければならないといわれています。

私自身、日常生活でも老化していることを実感しています。夜中に目が覚めること、白髪が増えてきたこと、体型が変わってきたこと（一大事）…。年をとりたくないと思う日々です。



病気でもそうです。実は七月から鼻水や咳が続いており、病院で「副鼻腔炎（蓄膿症）」と診断され今もスツキリと治っていません。ずっと続く鼻声でお参りをさせていたでいるので、お気づきのご門徒さんも多くご心配をおかけしております。大病ではないものの、こんなに一つの病に悩まされることはなかったので困っています。

『思い通りにならないから悩み 思いがけないことで感動する』という言葉を見つけました。浄土真宗のご本尊である「阿弥陀仏」は、悩みを始めとした煩惱を抱えたままの私を救おうと、おはたらきになる仏さまです。私たちは悩むからこそ、日常の有難さに気

づけるのかもしれませんがね。

お寺では来月報恩講がつとまります。一緒に仏さまのお話を聞かせていただき、一緒に励まし合ってくださいる方大募集です！お待ちしております。



住職コラム

『月影のいたらぬ里はなければども ながむる人の心にぞすむ』（法然聖人）

※意識 月の光は、野山や里をくまなく平等に照らしていても、その月をながめる人でなければその美しさは心に伝わらない

阿弥陀さまは私どもに、「お念仏を称えてください。いつも私はあなたのそばにおります

よ」と呼びかけてくださっている。それを私はそのまま、ありがとうと「頂戴」させていただくわけです。阿弥陀さまからのお呼びかけをそのまま、ありがとうなまんだぶといただきます。

何度もお念仏を称えなきやならんか？というところでもない。阿弥陀さまからの私どもへの呼びかけを聞かせていただくことです。私がどうであろうとも、いつも私を照らし、呼びかけつづけておられる阿弥陀さま。法然聖人のように、「そうですか、ありがとう、なまんだぶ」。

まことにありがたいことですね。

合掌



お知らせ

令和八年

おみがき

十月二十三日(金)

午前八時半より

子ども報恩講

十一月三日(火・祝)

午後二時より

仏教婦人会報恩講

十一月三日(火・祝)

午後四時より

御講師

新湊組 覚円寺

青木 哲隆 師

報恩講前日準備

十一月四日(水)

午前八時半より

報恩講

十一月五日(木)

午前九時半より

午後一時半より

十一月六日(金)

午前九時半より

御講師

伏木組 龍善寺

山名 一徳 師

八月大雨への募金のお願

八月二十七日の未明から朝
 にかけて相次ぎ発生した線状降
 水帯によつて、氷見市周辺では
 前例のない豪雨災害になりま
 した。



※月参りについて

十一月四日・五日・六日の

三日間はお休みさせてい
 いただきます。

浸水による住宅被害や農地
 への被害、山間部でも土砂崩れ
 による被害が多くありました。
 浄土真宗本願寺派高岡教区
 では、この度の大雨災害に際し
 て、義援金・支援金をお願いを
 させていただいています。
 今度の広済寺の報恩講では、
 そのための募金箱を設置させ
 ていただきます。皆さま方のご
 協力、何卒宜しくお願い致し
 ます。

編集後記

今年も報恩講の季節がやつ
 てきました。実は広済寺のあ
 る立野および福岡町周辺地
 域では、首を長くして待ち望
 んでいた時期でもあるのです。
 何かといえば、地元スーパ
 ーのリニューアルオープン。去年
 の九月末から建て替え工事の
 ため一年以上の長期休業をし
 ておられました。その間、どれ
 だけの方から「困った、困った」
 との声を聞いたことか。地域
 に愛されたスーパであったこ
 とが改めて知らされたことで
 した。

広済寺も
 そんなお寺
 を目標にし
 て頑張つて
 いきたいと
 思います！

